

老々介護

男の愚痴

妻の認知症も5年たち、便意尿意も衰えた。不潔行為は仕方がないと思っているが、思わぬ失敗をしでかし、ついに私は自制心をなくして爆発し、暴言を吐いた。暴力行為にも走りそう。不潔行為に対する接し方の悪さを反省し、直そうと努めているがその瞬間はだめだ。

食事の準備も自分一人なら何でも良いが、妻のためと思うとなかなか進まず時間がかかる。妻のためと思って作る料理は、実は自分のためにもなっていること、そう思うと面倒くさいと言わずに作ったらよい。だが面倒くさい。ヘルパーさんに来てもらったらどうか？ ヘルパーさんに気を使い、家中の恥をさらけ出すようで気が進まない。しかし、ヘルパーさんに頼らざるを得ない日が来るだろう。

介護サービスでは色々と助けてもらっている。それぞれの施設の介護職員の献身的奉仕には感謝感激雨あられです。家族の私の行為より愛情のこもった行為には頭が下がります。ひとつ希望として欲を申しますと、突発的な要求に対処してくれる所があればと思います。119番を呼ぶ程ではないが、介護のヘルパーさんが来てくれるだけで大助かりです。

医者通いについて。認知症と分かったのは家の近くの診療所で、病状が進んだので専門医の病院に替わり、今は要介護4まで進んだ。初期では認知症といっても体力的には元気であったが、長期化するにしたがって体力も弱り、一般の病気にかかり易くなった。専門の病院は予約診療だし、遠い。通院にも時間がかかる。普通の病なので近くの診療所に頼る。最近では診療所に行く階数の方が増えている。このまま、近所のお医者さんに認知症の治療もお願いできたら良いのではと考えている。

医者通い、デイサービス、ショートステイに行かすのが苦勞の種。いずれも時刻的に制約がある。時間で動いているので、その時間に合わせて彼女の気持ちを持っていくのが困難である。朝起きない。無理に起こすと反抗的になり失敗する。朝起きを良くしようと前夜早く床につかせても、朝方のごて方は同じ。夜中熟睡してないので朝方に深い眠りにについているのか。朝機嫌よく起こせるようにうまくコントロールできると、苦勞のひとつが消えて助かると思う。